

新見市版地域共生社会 の実現に向けて

新見市 総合政策課

最近、こんな悩みが地域であがってないですか？



行事に参加する人が
少なくなったの～。

地域の役が多くて、困っ
ている。といっても、他にな
り手もないし・・・。

車の運転ができないから、
買い物や病院に行くのも
一苦労だわ。



地域から若い人が減って、
活気がなくなったわ。



高齢で、田畑の手入れ
がきつくなってきたわい。

地域から商店がなくなって
困ったわ。

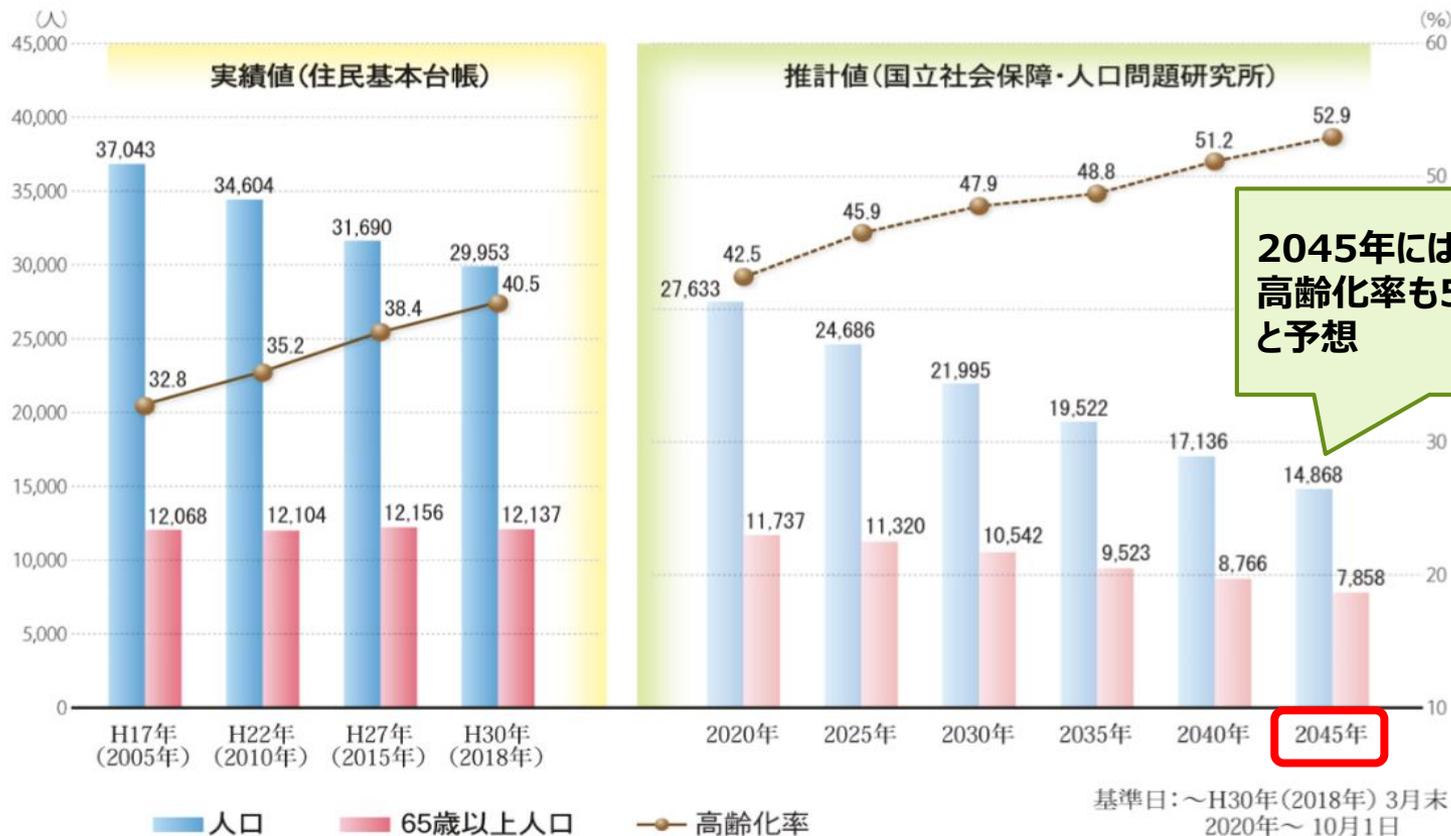
行事や会合で、
休みがないなあ。



空き家が増えてきたわ
ねえ。

平成30年3月、人口が3万人を切りました。

人口・65歳以上人口・高齢化率の推移



地域のかたちを考え直す**転換期**を迎えています。

10年後、20年後をイメージして、少し考えてみませんか。

将来の新見市のために、

今、やらなければならないこと！

①「人口減少」、「少子高齢化」の抑制

両者の取組を同時に
進める

まち・ひと・しごと創生総合戦略

定住人口の増加に向けた取組

地域資源を活用した交流の活性化と産業振興

雇用機会の創出

担い手不足の解消

女性が輝くまちの実現

②「人口減少」に備えたまちづくり

新見市版地域共生社会の実現

市民の協力が不可欠！

①「人口減少」、「少子高齢化」の抑制 新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略

定住人口の増加

- ・移住体験ツアー
- ・空き家バンク
- ・お試し暮らし
- ・婚活イベント
- ・看護学生奨学支援金 など

雇用機会の創出

- ・企業誘致
- ・創業支援
- ・IJUターン就職支援
- ・木材循環型社会の創出 など

担い手不足の解消

- ・就農相談会
- ・就農準備講座
- ・塩から子育て成事業
- ・ICT利活用教育
- ・地方創生塾 など

女性が輝くまち

- ・妊娠、出産包括支援
- ・将来のパパママ育成
- ・放課後児童健全育成
- ・育児休業取得促進
- ・ファミサポ など

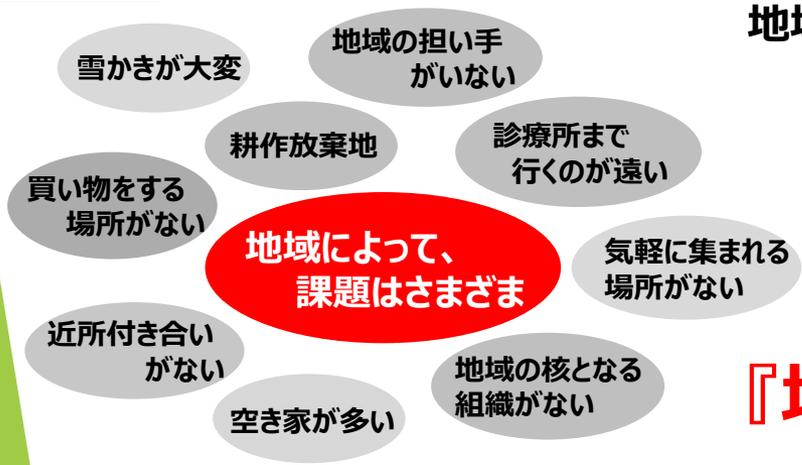
**地域資源を
活用した交流**

- ・PR動画の作成
- ・周遊型観光ツアー助成
- ・A級グルメフェア
- ・クアオルト健康ウォーキング
- ・A級食材の販路拡大 など

行政も様々な対策に取り組めますが・・・
地域特有の課題に対応するのは難しい。

②「人口減少」に備えたまちづくり 新見市版地域共生社会の実現

地域では・・・



地域特有の課題を解決しながら、**人口が減少しても持続可能な地域づくり**を考えていく必要がある。

行政だけでは不可能。
市民の協力・やる気が不可欠！

『地域共生社会の実現』

「人口減少」に備えたまちづくりとして、

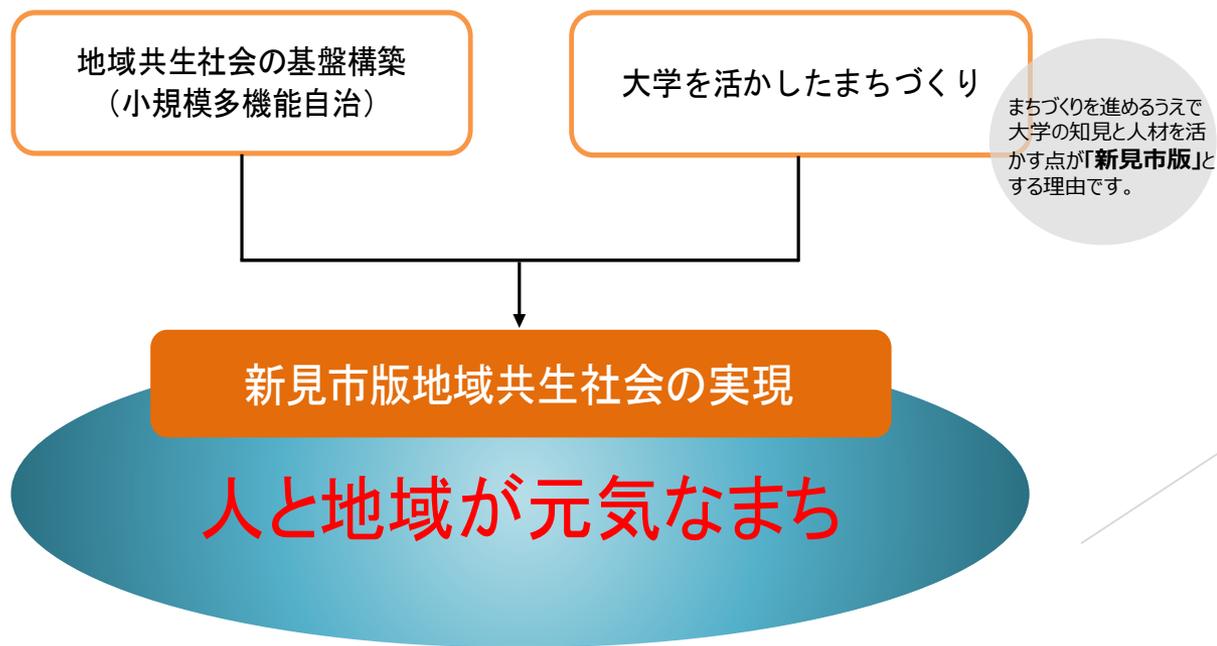
新見市版**地域共生社会**を目指しています！

地域共生社会とは・・・

年齢や性別などに関係なく、地域住民が**「我が事」**として参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を創っていく**全員参加型**の社会

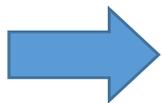
新見市版地域共生社会構築計画を策定（平成30年10月）

- ▶人口が減少しても、少子高齢化が進んでも、**「人と地域が元気なまち」**を創る。
- ▶人と人がつながり、**「地域活力と自治力」**を取り戻す。



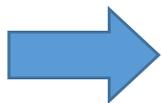
「小規模多機能自治」って何??

小規模



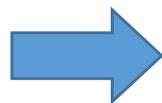
日常生活圏域（大字区域や小学校区（旧小学校区を含む。））など
地域に適した小さな単位で、

多機能



高齢者福祉、子育て支援、産業振興、耕作放棄地・空き家対策、移住定住といった地域の幅広い課題解決に、

自治



地域の様々な人が、協力して考え、取り組む。



うむ…。そうすると、まずは地域の課題を把握しないといけないな。

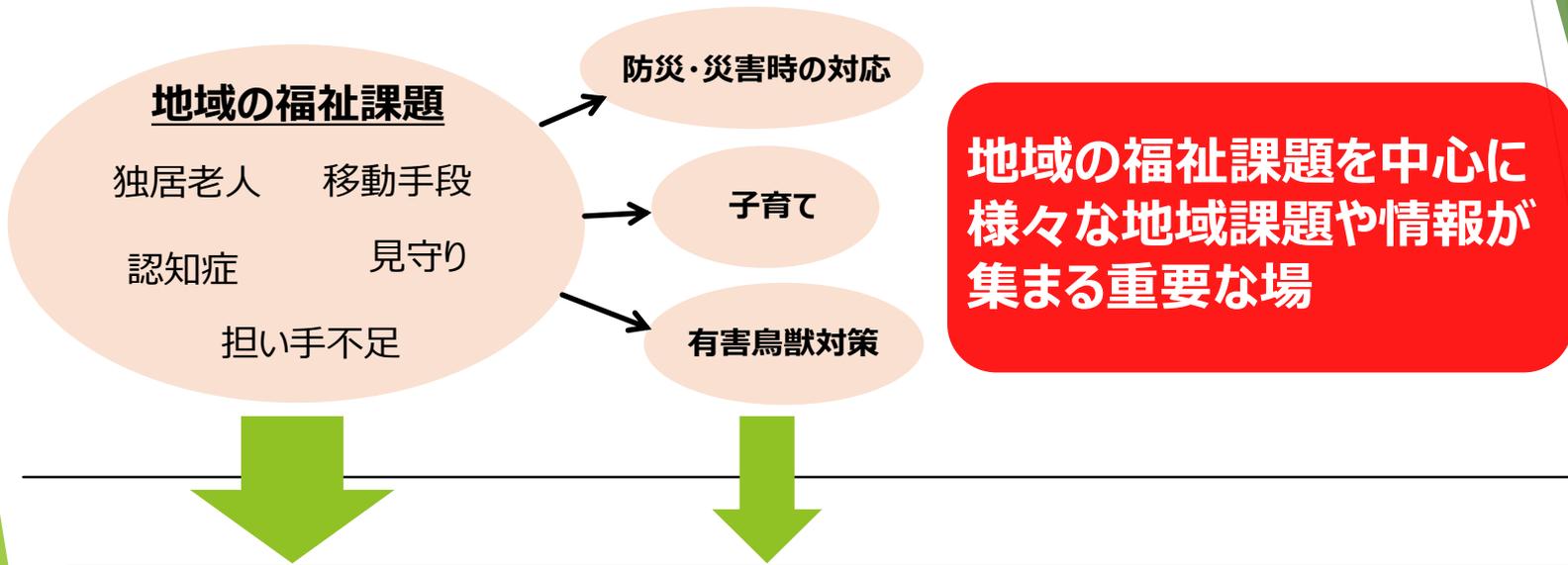
そうだね！色々な方法があるけど、
小地域ケア会議での課題把握も重要になってくるね！



「小地域ケア会議」と「小規模多機能自治」の関係

【小地域ケア会議】（平成26年から始まりました）

地域住民の各団体代表や社会福祉協議会、行政が一緒になり、自分の暮らす地域の困りごとや気づいたことについて話し合い、課題解決に向けた取り組みを考える場です。



様々な地域課題を
「小規模多機能自治」の考えで**解決**していく！！

「自治」を行うためには、地域の代表機関が必要

『**地域運営組織**』の設立が、第一歩！

「小規模多機能自治」の第一歩として、

「地域運営組織」の設立を目指しませんか？

地域運営組織とは・・・

将来にわたって、住民が中心になった地域づくり（小規模多機能自治）を進めていくための**地域を総括する代表機関**。

【現在】 多様な団体の併存

地縁型組織

- ・振興会
- ・町内会 等

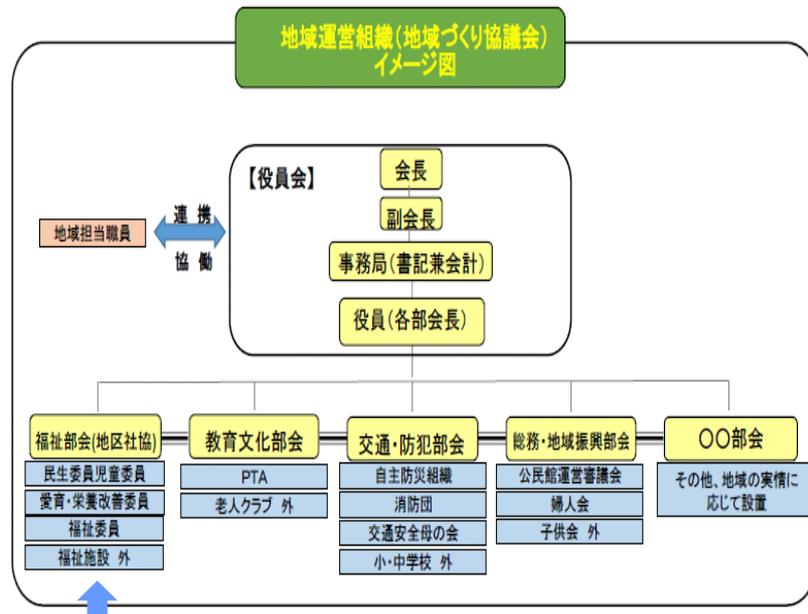
目的型組織

- ・消防団
- ・自主防災組織
- ・社会福祉の支部
- ・交通安全の支部
- ・文化サークル
- ・営農組織 等

属性型組織

- ・子ども会
- ・PTA
- ・老人クラブ
- ・婦人会 等

【これから】 総力を結集した**経営組織**へ





ちょっと待ってくれ！わしの地域には、すでに「**振興会**」があって、地域のことを色々やっている。また、組織が増えれば負担が大きくなるが…。

大丈夫！すでに「振興会」などの地域の中心的役割を担う組織があるときは、その組織を**母体**として、**地域運営組織へ移行**することもできるよ！

これまで、地域のために頑張ってきてくれたけど、これを機会に、将来を見据えて、次のポイントで、組織や地域のことを考えてくれると嬉しいな！



① 地域内の行事・会議・組織の棚卸し

行事の準備や会議で、時間に追われていませんか？また、1人がいくつもの役を持っていませんか？人口減にあわせて、行事や組織の形も考えてみましょう。

Point：「イベント型」から「課題解決型」に転換する！

② 地域に必要なことを住民が「我が事」として考える。

地域の将来のことをみんなで考えてみませんか？アンケートやワークショップを活用して、子どもから大人まで、幅広い世代の考えを聞いてみましょう。

Point：地域住民の意見を反映させた「将来計画」を策定する！

地域運営組織ができるまでの流れ



地域の動き

- ・地域の機運を高めよう。
- ・準備委員会をつくろう。
- ・将来計画をつくろう。
- ・組織の形態を検討しよう。
- ・みんなで計画や組織の形態を共有しよう。
- ・事業計画を立ててやってみよう。

市の動き

- ・地域で仕組みづくりについて説明します。
- ・先進地の事例を紹介します。
- ・地域の会議に参加します。
- ・話し合いの場づくりからサポートします。
- ・人、拠点、資金の面で活動を応援します。

**「〇〇地域共生
社会推進チーム」**
で、全面的に支援!

- ・地域担当職員（3～5名）
（地域にゆかりのある市職員）
- ・福祉部職員
- ・総合政策課職員
- ・生活支援コーディネーター
- ・社協職員

**組織の枠を超えて、
地域をサポートします!**

次のページから、事例を紹介します。

現在、市内には **2 地域** で **地域運営組織** が **設立** されています！

1 熊野の将来を考える会

- ▶ 設立総会 令和元年 5 月 1 8 日 (土)
- ▶ 市の認可日 // 5 月 2 4 日 (金)

➡ **既存組織からの移行**

2 唐松まちづくり協議会

- ▶ 設立総会 令和元年 6 月 2 日 (日)
- ▶ 市の認可日 // 6 月 1 4 日 (金)

➡ **既存組織を統合して新設**

(「唐松地域づくり推進委員会」と「唐松地域振興会」を統合)

1 熊野の将来を考える会 (既存組織からの移行)

母体組織：熊野の将来を考える会

平成29年12月 助け合いに関するアンケートを実施

- ・対象者：法曾（熊野地区）に住む20歳以上の住民
- ・配布数：255枚
- ・回答数：204枚
- ・主な設問：「手伝ってほしいこと」「手伝えること」

平成30年9月 「助け合い事業」を**試行的**にスタート 協働のまちづくり交付金を活用

アンケート結果をもとに、地域住民同士で支え合わなければ安心した生活ができないと考え、「**移動支援**」と「**生活支援**」に取り組む。

- ▶ 移動支援・・・病院やスーパーなどへの送迎
- ▶ 生活支援・・・家周辺の草刈り、家庭菜園の管理、墓の管理、家の簡単な修繕



平成31年3・4月 ワークショップ (子どもの会、大人の会をそれぞれ開催)

- 出席者：子どもの会 23名、大人の会 30名
内容：「地域のいいところ」「将来像」「将来像のために、できること、必要なこと」などを話し合った。

令和元年5月 地域運営組織「熊野の将来を考える会」設立総会

- 出席者：39名
内容：アンケートやワークショップをもとに作成した将来計画及び規約の承認

【将来計画】

アンケートやワークショップで出された意見を役員会で集約（令和元年4～5月）

熊野地域 まちづくり計画

熊野地域の目指す将来像
みんなで支え合い、生きがいのある熊野！

熊野地域のみなさんへ

熊野地区では、5年、10年と暮らしやすい地域であり続けるために、アンケート調査や「みんなでつくるうっ！よりよい熊野」を題してワークショップなどを開催し、小学生から大人まで、熊野の未来について話し合ってきました。

人口減少や少子高齢化の状況の中、これからも「生きがいのある熊野」を目指して「熊野地域まちづくり計画」を策定しました。

熊野は、これまでも「熊野備前水道」や「道路拡張」「熊野幼児園」「盆踊り・花火大会」「運動会」等、地域が一体となって様々な問題に取り組んできました。さらに「助け合い事業」など、生活に密着している事業にも取り組み始めました。

これからも、みなさんの目指す将来に向かって実現していけるよう一緒に取り組みましょう。

本計画は、時代の変化に合わせて、必要に応じて見直しを行っていきます。

▶発行 熊野の将来を考える会（令和元年5月）

まちづくり計画 策定に向けた取り組み

「熊野地域まちづくり計画」を策定するため、助け合いに関するアンケート調査や、小地域ケア会議、「みんなでつくるうっ！よりよい熊野」が中心となるワークショップを開催し、話し合いを重ねてきました。

H29.7 立上げ 小地域ケア会議（総勢）

H29.12 調査 助け合いに関するアンケート

H31.3.30 第1回 ワークショップ「みんなでつくるうっ！よりよい熊野・子どもの声」

H31.4.12 第2回 ワークショップ「みんなでつくるうっ！よりよい熊野・大人の声」

R1.5.18 編成 計画を策定しよう！

熊野の将来を考える会 組織図

```

            graph TD
            A[会長] --- B[副会長]
            A --- C[事務局]
            A --- D[理事]
            D --- E[総務部]
            D --- F[健康・福祉部]
            D --- G[地域振興部]
            D --- H[地域安全部]
            D --- I[教育・文化部]
            
```

項目	1. 地域課題の把握・課題の抽出	2. 地域課題の整理・優先順位付け	3. 地域課題の解決に向けた取組の検討	4. 地域課題の解決に向けた取組の実施	5. 地域課題の解決に向けた取組の評価
地域課題の把握	アンケート調査、ワークショップ、小地域ケア会議などを通じて、地域課題を把握し、整理しました。	地域課題を整理し、優先順位付けを行いました。	地域課題の解決に向けた取組の検討を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。
地域課題の整理	地域課題を整理し、優先順位付けを行いました。	地域課題を整理し、優先順位付けを行いました。	地域課題の解決に向けた取組の検討を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。
地域課題の解決	地域課題の解決に向けた取組の検討を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の検討を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の検討を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。
地域課題の実施	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の実施を行いました。
地域課題の評価	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。	地域課題の解決に向けた取組の評価を行いました。

計画に盛り込まれた新たな取組

▶雇用・産業分野

- ・休耕地を活用した農業体験
- ・地域資源を活かした特産物開発（ジビエ等）

▶健康・福祉分野

- ・サロン活動の拡大（いつでも気軽に利用できる）

▶子ども分野

- ・長期休業中の無料塾（教員OB活用）

▶「助け合い事業」も本格的に開始！

- ・移動支援（ボランティア運送）
- ・生活支援（草刈り支援、買物代行）

イベントだけでなく、**地域課題解決**や**自主財源確保の取組**についても明記されているよ！



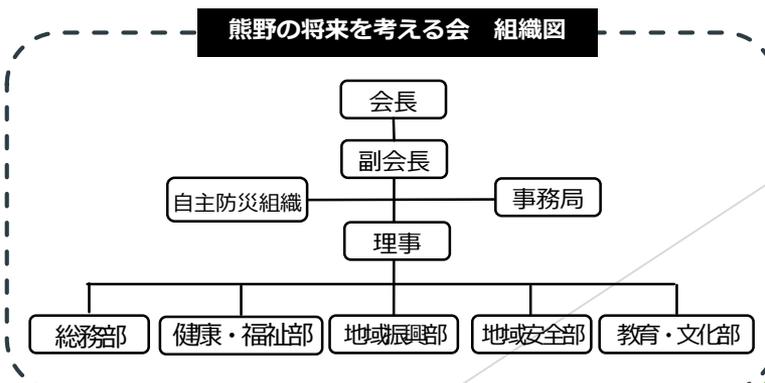
【組織構成・規約等の整備】

▶部会への機能移転

新たに設置した健康・福祉部会が地区社協の機能を引き継ぐなど、組織体制を見直し。

▶規約の修正

既存の規約に細則を設け、部会の設置等を新たに規定。





ワークショップ（こどもの会）



ワークショップ（大人の会）



地域運営組織 設立総会



生活支援（草刈り）



送迎支援の出発式

2 唐松まちづくり協議会 (既存組織を統合して新設)

母体組織：唐松地域づくり推進委員会・唐松地域振興会

平成30年 4月 既存組織の統合に向けた話が持ち上がる

地域内の目的が同じで役員も重なる団体を一つにして、住民負担を軽減し、より良いものにしたい。

平成30年10月 唐松・広瀬地区地域づくり・振興会新組織設立準備会 立ち上げ

メンバー：20名（生活支援コーディネーターも参加）

協議開始日：平成20年10月31日（おおむね月2回協議）

平成31年 1月 まちづくりアンケート（「一般向け」「**中学生～高校生向け**」を作成）

対象者：唐松・広瀬地区に住む住民

回答者数：一般向け511名、中高生34名（回収率：約60%）

主な設問：「課題や必要なこと」「支援できること」「10年後の地域像」

平成31年 2月 ワークショップ（**子ども（小学生）～大人まで一堂に会して開催**）

出席者：60名

内容：「唐松の夢・将来像・キャッチフレーズ」「キャッチフレーズの実現に向けて必要なこと・自分たちでできること」などを話し合った。

令和元年 6月 地域運営組織「唐松まちづくり協議会」設立総会

出席者：60名

内容：アンケートやワークショップをもとに作成した将来計画及び規約の承認

【将来計画】

アンケートやワークショップで出された意見を役員会で集約（平成31年3月～5月）

将来計画策定に向けた取り組み

【唐松地域の将来計画】を策定するため、まちづくりアンケート調査や、小地域ケア会議、「未来をみんなで語り合う会」といふ名称のワークショップなどを通じて、話し合いを進めてきました。

H28.11	総会	小地域ケア会議
H30.10.30	立ち上げ	まちづくり協議会事務局設置委員会（仮称事務局）
H30.12	調査	アンケート調査を実施し、まちづくりアンケート実施
H31.2.24	前倒し	ワークショップ「未来をみんなで語り合う会」
R1.6.2	総会	計画を共有しよう！

唐松まちづくり協議会 組織図

```

    graph TD
      A[協議会] --> B[会長]
      A --> C[副会長]
      A --> D[事務局]
      B --> E[総務・地域展覧会]
      B --> F[健康・福祉部会]
      B --> G[地域安全・環境部会]
      B --> H[教育・文化部会]
    
```

唐松地域 まちづくり将来計画

唐松地域の目指す将来像
みんな笑顔でやさしい地域
「オール唐松」で未来へつなごう

唐松の名前の由来
唐松という地名は古く、中世には鎌倉中興社(村)の地名として記録が残っています。由来は定かではありませんが、唐松の木があったことになむともいわれています。

唐松地域にお住まいのみなさんへ
唐松地域では、将来に亘って住みよい地域であり続けるよう、まちづくりアンケートや「未来をみんなで語り合う会（ワークショップ）」などを開催し、小・中学生から大人まで、地域のみなさんと唐松の未来について話し合ってきました。

全国的な人口減少が懸念される中、和気あいあいと楽しく暮らせ、助け合い、協力し合える住みよい地域、地域の特性を活かしたやりとりが広がる地域を目指し、「唐松まちづくり将来計画」を策定しました。
唐松で暮らすすべての人が夢と希望をもって生活し、未来を担う子どもたちに引き継いでいけるよう、一人ひとりが地域を愛し、考え、行動する地域を目指し、オール唐松で一緒に取り組んでいきますよ！

本計画は、時代の変化に合わせて、必要に応じて見直しを行っていきます。
▶発行 唐松まちづくり協議会（令和元年6月）

分野	課題と現状と主な取り組み	目標と取り組み	推進体制
健康・福祉	高齢者の健康増進 健康寿命の延伸 認知症対策 障害者支援 子育て支援	高齢者の健康増進 健康寿命の延伸 認知症対策 障害者支援 子育て支援	健康・福祉部会
地域安全・環境	防災対策 交通安全 環境対策 防災対策	防災対策 交通安全 環境対策 防災対策	地域安全・環境部会
教育・文化	教育の充実 文化振興 教育の充実 文化振興	教育の充実 文化振興 教育の充実 文化振興	教育・文化部会
総務・地域展覧	総務・地域展覧 総務・地域展覧	総務・地域展覧 総務・地域展覧	総務・地域展覧部会

計画に盛り込まれた新たな取組

▶ 地域環境分野

- ・空き家対策、移住者支援等（移住者のノウハウ利用）
- ・耕作放棄地対策（作業請負、農機具共同利用制度）

▶ 健康・福祉分野

- ・拠り所（サロン、日常的な多世代交流の場）の開設

▶ 子ども分野

- ・放課後児童クラブ（学習支援、学習ボランティア）

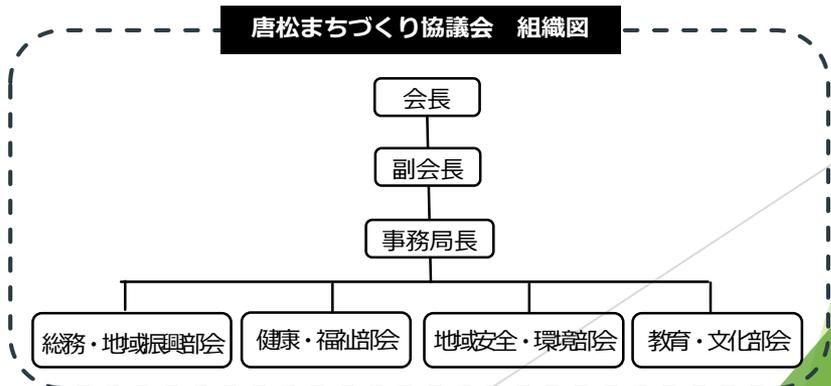
イベントだけでなく、**地域課題解決**や**自主財源確保の取組**についても明記されているよ！



【組織構成・規約等の整備】

▶ 部会への機能移転

健康・福祉部会が地区社協の機能を引き継ぎ、福祉ネットワーク事業、小地域ケア会議を担当するなど、既存組織を部会へ機能移転した。





新組織設立準備会の様子



ワークショップの様子



唐松地域共生社会推進チームの市職員
(左上) が話し合いをサポート



唐松まちづくり協議会 設立総会



なるほど！実際に、取組を開始している地域運営組織があるんじゃないかな。
でも、色んな取組をしようにも、資金面で不安があるんじゃが・・・。

確かにそうだよね！資金面での不安を少しでも解消するように、

2種類の**交付金**を準備しているよ！



①小規模多機能自治一括交付金 ※地域運営組織認可日以降

▶地域運営組織が、地域の**将来計画に基づいて行う活動**に対して、
地域自ら用途を決定し、活用することができる交付金。

※人件費などの基本額＋統合可能補助金（地域づくり、防犯灯、敬老会）

※均等割＋人口割により算出し、一括して**毎年交付**。（100～150万円となる地域が多い）

②協働のまちづくり交付金 ※地域運営組織が設立されるまでの間

▶地域運営組織設立に向け、**地域での議論（小地域ケア会議）**を踏まえ、
地域の課題解決につながる**試行的な取組**に活用できる交付金。 ※1団体50万円（原則1回）



熊野の将来を考える会



蚊家地区ふるさと振興協議会

市町村の職員は減らし続けるしかない。

しかし、くらしを支える地域づくりの担い手は、増やさねばならない。

参照：ソシオ・マネジメント第6号（2018 vol. 6）

ならば、地方自治の枠組みを変えてしまうしかない。

人口より課題が増える時代・社会は、

「これまで通り」では歯が立たない。

⇒超高齢化社会は、だれも経験したことがない。つまり、**前例はない**。やってみるしかない！

課題解決先進地になるには、チャレンジにやさしく。

⇒若者がしたいように！**「決めてみる。やってみる。ダメならやり直してみる。」**

年齢や性別などに関係なく、「我が事」として参画する。

⇒1人で1人前の活躍ができなくても、**0.2人前×5人＝1人前**でいい！

⇒**特技や経験を活かす！**自分が地域に対してできることがないか探してみる！



野菜作りなら任せて！

草木の剪定ならできるぞ！



送迎ならするよ！

財務処理なら任せて！



⇒20年後（将来）どうなっているか**イメージしてみる！**

例えば…

10代

進学や就職で出たとしても、戻って来たいと思える地域はどんな地域？

20～30代

子どもが安心して暮らせる地域とは？
仕事しながら、無理なく地域に関わる方法は？

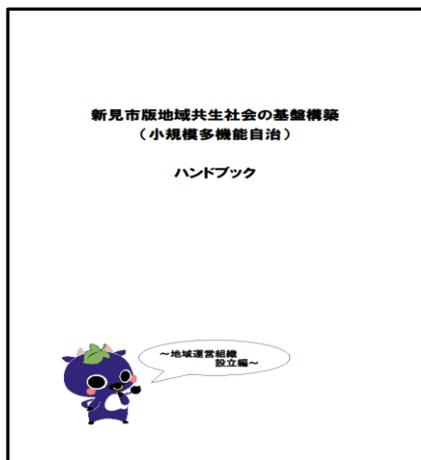
40～50代

将来、中心的に地域運営するとき、今の体制でよいか？
退職後に、いきがいに繋がる活動ができないか？

60代～

次代へ引き継ぐために、今の体制を再確認してみる。
高齢になっても、安心して暮らせる地域とは？

少しでも、**やってみよう!**と思ったら、
地域担当職員や総合政策課（電話：72-6143）
に気軽に相談してください。
一緒に地域の将来を考えていきましょう！！



ハンドブック「地域運営組織設立編」
もあるので、参考にしてね!



- 行政番組 「協働によるまちづくり」放送中
- 市ホームページでも随時情報公開中